



自治連だより

第7号



新たな 発展を期して

会長 池原 範雄

先に開催された定期総会において、機能（活動能力）強化に向けた組織の改変と、新体制が満場一致で承認され、新たな決意のもと、新年度がスタートいたしました。

本年度の重要課題としては

- (一) 自治組織への加入促進
- (二) 全国自治連鳥取大会への取組み
- (三) まち（地域）づくり活動

の推進
でありますが、加入促進につきましても、行政当局の格別のご支援と自助努力により、僅少なながら加入率が高まっておりますことは喜びであります。

また、全国自治連鳥取大会に向けましても、準備委員会をはじめ関係機関のご尽力で、受入れ態勢が固まりつつあり、これまた心強い限りです。

現在のところ、P・Rが効

を奏してか、県外からの申込みが予想を遥かに越え、まさに嬉しい悲鳴であります。

何はともあれ、大会の成功と併せ鳥取のすばらしい魅力を全国にしっかりと提供したいと思っております。

一方、それぞれの地域では、まちづくり協議会への取組みが進められていますが、**地域コミュニティ**というのは、住民同志が力を合わせ、地域の問題解決や生活の安全・安心を確保するための基盤となるものであります。

一人ひとりのできることには限りはありますが、行政と住民団体、そして住民同志の相互理解と信頼のもと連携していけば、問題解決に向けた大きな力が生み出されるものと確信しております。

ご指導をお願いします。



白兔海岸 夕日



ふれあいもちつき大会

こんにちは、未恒地区自治連合会です。町区数十六、自治会加入世帯数一七二五で、市自治連の中でも比較的大きな自治組織に入ると思いますが、単一の自治会とはなっておりません。

特徴は、伏野・白兔を中心とする旧未恒村からの集落と比較的新しい美萩野地区で構成されている点です。また、同じ美萩野地区でも早くから

未恒地区

**新しいまちづくりを
目指して**

未恒地区会長 竹本 芳宏

体の形態を執りながら、未恒地区として調和の取れた発展を図っていくという考えが現実的であると考えています。



まちづくり協議会研修会

この様な中で、ここ二、三年「まちづくり協議会」の設立が自治連の大きな課題となり、当地区においても昨年八月末に「協議会」を立上げました。組織形態は自治会中心型で、今年度は「地域コミュニティ計画」策定の年と位置付けておりますが、この半年は目立った動きができておりません。

七月十日には竹内市長を迎えて「地域づくり懇談会」が予定されておりますが、これを契機に計画策定を軌道に乗せたいものと考えております。

平成二十一年度 定期総会

平成二十一年五月二十七日、とりぎん文化会館小ホールにおいて、定期総会及び人権問題研修会が開催され、町内会長約二百四十名のご参加をいただきました。総会に先立ち、人権問題研修会では、鳥取市人権情報センターの主任研究員、坂根政代氏から「人権を尊重したまちづくりをめざして」と題し、具体的な事例を挙げながら、地域コミュニティの充実にむけて暖かい視線で取組むことが大切であることなど、わかりやすくお話していただきました。

総会では、池原範雄会長より「地区要望や加入促進の成果、平成二十一年度の全国自治会連合会鳥取大会の成功を期する」旨あいさつがあり、長年町内会活動に功績のあった、鳥取市長感謝状受賞者二十一名、及び鳥取市自治連合会感謝状受賞者五十四名に対し、竹内鳥取市長、池原会長からそれぞれ感謝状及び記念品の贈呈が行われました。続いて、竹内市長及び中西鳥取市議会副議長からご

祝辞いただいた後、林副市長から市政の概要について説明をしていただきました。



その後、議案の審議に入り、慎重に審議を行った結果、いずれの議案も原案どおり承認されました。

- ① 平成二十年度事業報告及び収支決算報告、監査報告
- ② 平成二十一年度事業計画(案)及び収支予算(案)
- ③ 役員承認

新役員

会長	池原 範雄
副会長	大久保 良隆
副会長	山田 建雄
副会長	久林 肇
副会長	房安 一也
副会長	若林 玄侃
監事	廣田 哲夫
監事	中村 徹也
監事	渡邊 勘治郎

福部地区 「福部町」で「世界砂像フェスティバル」開催!

福部地区会長 南部 敏

鳥取市は本年度の大イベントとして、姫路・鳥取自動車道開通を記念し、2009鳥取・因幡の祭典」を開催、そのオープニングイベント「世界砂像フェスティバル」が、

たきりズム感の良さと迫力に会場が圧倒され大拍手の渦言葉は通じずとも身振り手振りの談笑と有意義なひと時を過ごしました。

わが町福部町でスタート、四月十八日(土)から五月三十一日(日)まで四十四日間にわたる県内はもとより、全国各地から三十五万二千四百八十四人の入場者を記録し、当初目標の二十万人を大幅にクリア

期間中は八十八名のボランティアの要請に対し二十一全集落より七十九名の方に快く応諾いただき、午前七時より会場オープン八時三十分まで、砂像のメンテナンス作業に当たった。また、各地域伝統芸

大成功であったとともに、地元民としても大変嬉しく喜んで

四月三日(金)に砂像作家十名及び関係者の方々と福部町中央公民館で地元との交流会が開催され、アイディア館女性グループによる手料理と、幼稚園、中学校、地元芸能グループ等の芸能披露、興が増すにつれ砂像作家の派手なパフォーマンス、また和太鼓を



多くの人で賑う会場

住宅地好評分譲中!!

賀露西浜ニュータウン

潮風香る、リゾート感覚の分譲住宅地

かにっこ館隣接

- 平均坪単価/135,500円
- 最多販売価格帯/800万円台

上下水道の負担金不要

お問い合わせ先

鳥取市賀露西浜土地地区画整理組合
理事長 小林 増夫 ☎0857-28-3596



“福部の日” イベント

能の日関連イベント「福部の日」は五月二十五日(月)に開催され、月曜日にもかかわらず学校の遠足とか、団体客が多く予想以上の人がごったがえし、さすが世界を代表する砂像作家の人気の高さを痛感した。

福部町のイベントとしては、

受賞おめでとーございます

前鳥取市自治連合会会長、森西辰良氏が、長年住民自治活動の推進に尽力した功績により、平成二十一年春の藍綬褒章を受章されました。

◆ 藍綬褒章

前会長 森西辰良氏(地方自治功績)

◆ 緑綬褒章……平成二十年秋の褒章

賀露町自治会(社会奉仕活動功績)

伝統芸能ステージイベント部門に三団体、体験イベント部門に二団体、出店に三団体が参加し来場された皆さんに喜んでいただき、またイベントに参加した皆も満足感にあふれていた。

期間中、福部町内に四ヶ所のマイカー臨時駐車場が設けられ、シャトルバスによる会場までの送迎が行われ本イベント成功要因の一つであったと思う。一方地元では特産砂丘ラッキョウの収穫期、二十世紀梨の消毒期に当たり関係者も多く、作業に支障をきたしたとの苦情を寄せられたことは今後の大きな課題となった。

五月三十一日(日)、四十四日間にわたった大きなイベントも「ふるさと」の大合唱で華やかにフィナーレとなった。

「組織の活性化を目指して」

「総務」・「男女共同参画」委員会新設

鳥取市自治連合会では、さる五月二十七日に開催した総会において、平成二十一年度の事業計画を決定しました。

この計画の柱の一つに「調査・研究活動を通じた組織強化」を掲げて、今、組織が抱える多様な課題の解決方策を調査検討して、活力のある組織運営に資することを目的とした二つの委員会を新設することになりました。

その委員会は「総務委員会」と「男女共同参画推進委員会」です。鳥取市自治連合会としては、既設の「広報委員会」及び「全国自治会連合会鳥取大会準備委員会」と合わせて四つの委員会を構成することになりました。

これら四委員会の委員には、四十二名の地区会長さんが、どれかの委員会に所属するように振り分け、全地区会長さんに知恵と汗を出していただくことにしました。

「総務委員会」の当面の審

議課題は、鳥取市から交付されている、自治連組織の活動活性化助成金の組織内の配分方法を、統合した組織にふさわしい基準に見直すことでもあります。この見直しに当たっては、単純な画一化でなく、鳥取市域、新市域それぞれが抱える組織課題も踏まえた、真摯で慎重かつ大胆な検討が求められています。

「男女共同参画推進委員会」については、これまで地域コミュニティを支えてきた町内会の機能を更に高め活性化することを第一義の目的として、町内会役員への女性の進出を図るための具体的施策について、調査検討し早期に実践に移すことを狙いとしております。

これら四委員会の具体的運営に当たっては、執行部と各委員及び事務局が同じベクトルのもとで一体となって取り組むことが重要で、実効性のある方策の提言が期待されます。(組織担当副会長 大久保記)

掛け流し天然温泉完備

一部循環式併用

ご宿泊・ご宴会・ご婚礼・お食事



ホテル モナーク鳥取

〒680-0834 鳥取県鳥取市永楽温泉町 403

TEL. 0857-20-0101(代表)

代表取締役社長 池原良行

団体旅行からハネムーンまで
日本の旅から世界の旅へ



株式会社 新日本観光センター

本社 鳥取市二階町3丁目206-3
(新日本観光ビル)

☎ (0857) 24-4175

鳥取支店 鳥取市扇町71番地 ビエントビル1F
(鳥取駅南ローソン隣)

☎ (0857) 27-1122



特色ある地区及び

町内会活動

河原地区会長 林 敏浩



“世界砂像フェスティバル” オンステージ

鳥取市河原町の散岐地区に「散岐皿まわし健康づくり同好会」があります。会長の山本勲氏が平成六年十月、何げなしにNHKテレビを見てみると、熊本県老人クラブの団体による皿まわしが放映されていました。NHKに問い合わせ、たずねて教えを乞い地元の高齢者を中心に四十人を集めて、皿まわし教室を開催し、平成七年には、発祥の



皿まわし体験 (子どもの国にて)

地の大分県に本部があり、年一回全国大会を開催していることがわかりました。さつき、十月に日本皿まわし全国大会に参加し、会長の山本勲氏と事務局の徳田節子氏は、初級を取得しました。十一月には、健康づくりを目的に同好会を結成し、鳥取県河原町支部が誕生しました。

皿まわしは、何といっても高齢者に適した運動であり、礼儀・努力・感謝・精神に基づき、真剣な練習と技の収得に努力しています。腕や手先の振り、目や手の動き、姿勢等、あらゆる神経・集中動作が必要とされます。したがって高齢者の老化防止には最も適しています。

平成九年の「夢みなと博覧会」に町を代表して出演しましたが、その様子がテレビで放映されて大変な人気となり、県内各地から芸の披露や指導の要請が入ったりしました。中でも最も大きなイベントは、町内あげての二十四時間テレビ出演でした。平成十四年に鳥取県で開催された第十七回国民文化祭です。全国から皿まわしの愛好家が集まり、「ふるさとなんでも夢まつり」皿まわし競演会が河原町で開催され、半世紀に一度という歴史的なイベントが成功し、町民皆様のご支援とご協力のたまものでした。詳しくは、「わがまち元気」サイトに掲載されておりますので、アクセスしていただけたらと思います。

会員は高齢化で減っており、これからは、三十代から五十代の世代をつなぐ活動として発展させて行きたいと思っておりますので、会員として皆様のご参加をお待ちしています。

編集後記

「自治連だより創刊号」が、2006年7月10日発行されて本号で満3年。この間には、自治連の方針や取り組み状況、各地区の活動状況など50件に及び寄稿を掲載することができました。関係各位に感謝します。

- ▲本年度の総会において、総務、男女共同参画委員会の新設が承認されました。いずれも本会の重要課題。委員各位ご苦労様です。
- ▲本号の活字を少し大きくしました。読書感は如何でしょうか。
- ▲「だより」を、会員の「だより」にしていくために、ご指導・ご協力をお願いします。

のんびり・ゆったり・快適
温泉生活 はじめませんか!!

温泉付分譲地 鳥取市鹿野町

湯川住宅団地好評分譲中

鳥取市土地開発公社

TEL 0857-22-4742 <http://tottori-kk.or.jp>